

## 第1回富田林市観光ビジョン策定委員会 会議録

日時	平成30年8月21日 午後2時～
場所	富田林市役所3階 庁議室
委員	出席：橋川委員、松井委員、阪口委員、瀬川委員、畑中委員、 松下委員、赤崎委員、和泉委員 欠席：柴田委員
事務局	杉分部長、柳田次長兼課長、武部課長代理、中谷係長、菅原

### 1. 開会のあいさつ

### 2. 委員委嘱及び紹介

### 3. 会長及び副会長の選出

### 4. 会長就任あいさつ

### 5. 議題

#### (1) 会議の公開・非公開について

<会長>

会議の公開・非公開について、部分公開、本策定委員会すべて、あるいは開催ごとに決定するなど色々あるかと思いますが、いかがでしょうか。

<委員>

公開でよいのではないのでしょうか。

【異議なし】

<会長>

それでは、本策定委員会についてはすべて公開と決定させていただきます。議事録につきましては事務局で作成をお願いします。

<事務局>

会議の公開につきましては、事務局で必要な手続きをさせていただきます。議事録につきましては作成後、会長にご報告のうえWebサイト上で公開していきます。なお、議事録作成のため、会議を録音させていただきますのでご了承をお願いいたします。

<会長>

傍聴の人数は何名としましょうか。

<委員>

5名くらいでよいのではないのでしょうか。

【異議なし】

<会長>

それでは、5名と決定します。

## (2) 本市観光ビジョンの策定について（今後の予定等）

<会長>

事務局から説明をお願いします。

<事務局>

現在の観光情勢は、インバウンドの拡大や旅行形態の多様化など、大きく変化しております。これからの市の政策として、その変化に対応するために、本市が持つ観光資源にさらに磨きをかけ、積極的に活用していくことが重要となります。

そのため、本市の観光事業の方向性を明確に設定し、観光資源の活用策を検討する必要があることから、将来的な観光客受け入れの整備等を含めた観光政策の柱となる観光ビジョンを策定します。

この観光ビジョンの計画期間は2020年度から2024年度までの5年間で、今年度、来年度の2年にわたって策定していく予定で、今年度は現状把握、課題整理ということで、各種調査とフィールドワークを実施し、今年度末までに、一定の調査結果と詳細分析の報告を予定しています。

来年度は観光ビジョンの骨子案についてご意見をいただき、並行して3回のワークショップを開催し、そのワークショップの結果を活用しつつ、観光ビジョンの素案作りを進めていきたいと考えています。素案につきまちは広く市民のみなさまのご意見を伺うため、パブリックコメントを実施し、その結果等含め、最終案を委員の皆さまにご提示させていただくという流れで考えています。

来年度の委員会としましては、4回程度の開催を考えており、庁内各課の身近な意見を吸い上げていくため、随時、庁内での調整部会を開催していく予定です。

## (3) 各種調査について

<会長>

事務局から説明をお願いします。

<事務局>

基礎（統計）調査、インターネット調査、ヒアリング調査、インバウンド関連調査等、各種調査について説明。フィールドワーク、ワークショップの開催等について説明。

<会長>

何か、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

<委員>

インターネット調査について、1,000のサンプルをどのような基準で設定されますか。

<事務局>

資料でお示ししている地域の区分で、それ以外は基本的にランダムです。インターネット調査は、調査会社が抱えるモニターを対象に行うものですが、調査地域をある程度設定させていただきたいと考えています。

<委員>

インターネット調査については、より多くのサンプルが集められるように、SNSを活用してはいかがでしょうか。無料でできるインターネット調査もあるので、ぜひ検討していただきたいと思います。1,000という設定についても教えていただきたいです。

<事務局>

委託契約の関係もあるので、大きな仕様については変更が難しいところがございます。基本的にはこの案をベースに実施していきたいと考えています。

<委員>

1,000サンプルは問題ないですが、限られたサンプル数の中で、どのように振り分けるかは重要だと思います。たとえば、関西を重視するのであれば、関東・九州はなくてもよいかもしれません。

<委員>

男女や年齢別で分けたら各区分10人くらいになるので、意味があるのか気になるところです。

<事務局>

他事業者の提案も1,000サンプルくらいでしたので、このあたりが基準になってくると思います。

<会長>

では、サンプル数については1,000ということで進めさせていただきたいと思います。市内の観光関連事業者のヒアリングについてはいかがでしょうか。

<委員>

ヒアリングは、観光客に聞くものと思っていましたが、そうではないのでしょうか。

<事務局>

市のひとつのテーマとして、経済効果についても見ていきたいと思っているので、そのあたりを把握するうえでも、各事業者の皆さまに意見をいただきたいと思います。

<委員>

ワークショップの際でもいいが、観光協会や商工会だけでなく、その組織の中の会員や事業者など、もう一段階掘り下げた方たちの意見も聞けるとよいと思います。

<会長>

各事業者で実施されている調査も現状把握に活用させてもらえたらと思いますが、いかがですか。

<委員>

当宿泊施設の調査票は全国共通のものを使用しているので、富田林市のことを聞くことができているわけではありません。

<会長>

きらめきファクトリーでは、インバウンド調査を実施されているのでしょうか。

<委員>

他部局の課が担当ですが、4か国語で実施しています。大阪観光局でも年2回くらい調査をやっているのではないのでしょうか。

<委員>

年4回、調査を実施しています。今年度は大阪府でも動向調査の実施を予定していて、次年度以降に共有させていただくことは可能だと思います。調査項目の中に市町村名を入れることもできるので、調整をさせていただきたいと思います。

<委員>

きらめきファクトリーでやっている調査を、当宿泊施設で実施させていただくことは可能でしょうか。きらめきファクトリーでしか使えないのでしょうか。

<事務局>

部局・所管が違うのでお答えできかねるところです。富田林市の施設に決めて設置していると聞いています。

<委員>

きらめきファクトリーでは、数は少ないけれども、資料請求が来た時には、どこにお住まいの方かなどは把握しています。所管課のOKが出れば公表できると思います。

<委員>

そのような調査の実施は思いつきませんでした。せっかく来られるのだから、富田林に関するアンケートをとってもよいし、その際に何かお礼に差し上げてよいですね。

<委員>

実施に際しての時系列について、4つの調査を一斉にやるのか、それとも段階を追ってやるのか。基礎調査（ビックデータ）の分析・解析を行ってから、インターネット調査などを実施するのか。もし関東の方が多く来られていることがわかれば、関東のサンプル数を増やしてもよいでしょうし、より効果的に順序立てていくべきだと思います。

<事務局>

既存データから分析できることを行っただけで調査設計をしていきたいと思っています。

順序立てを含めて、改めて考えてまいります。

<委員>

ヒアリング調査については、南河内というエリアで考えることが多いので、富田林市に関して単体で聞かれてもなかなか難しいと思われるし、答えられるエージェントさんは少ないと思います。旅行会社の中でも地域交流推進などのセクションの方もいらっしゃるの、まずはそちらからご意見を聞いたうえで、話を進めたほうがよいのではないのでしょうか。

<事務局>

ヒアリングについては、広域観光の内容について事務局内で確認・検討し、そのうえで対象者へのヒアリング項目を決定してまいります。

<委員>

じないまち交流館の指定管理を受けて今年度末で8年になります。6～7年分はアンケートがあるので、提供できる分は提供可能だと思います。

フィールドワークの中に観光ボランティアガイドを入れていただいています。寺内町に関してはボランティアガイドが存在しています。外国人の案内をしてくれる人もいます。また、市の職員で寺内町に興味があり、英語ができる人で、お客様からの要望があれば、休みの日に協力してもらおうこともあるようです。

<会長>

外国人はどこが多いのでしょうか。

<委員>

ヨーロッパ系が多いと思います。寺内町に女性専用の宿泊施設があり、そこに泊まって京都や大阪にも行くようで、関西観光の拠点になることもあるようです。あとは中国・韓国も時々来られると聞いています。中国からは役所関係の行政視察の来訪が多く、市役所に任せているのでボランティアガイドをお願いすることはありません。

<事務局>

台湾の方も最近多いようです。中国の方は行政視察という形で来られています。

<委員>

地域の文化や生活に興味のある方が富田林に来るのでしょう。何度か日本を訪れてより深いものが見たい、知りたいという方が多いのではないかと思います。台湾の方でもそういったリピーターが増えていると言われています。

<委員>

最近韓国の方が多い印象です。韓国の雑誌記事で大阪特集があり、3大観光地が道頓堀・新世界・寺内町でした。LCCで到着して、チェックイン前に寺内町を訪れることもあるようです。

<会長>

その他、ご意見ございませんでしょうか。

<委員>

(ご意見なし)

<会長>

色々のご意見をいただきありがとうございました。ここで、すべての案件につきまして無事に終了できたことをご報告します。

<事務局>

ありがとうございました。いただいたご意見をふまえて、これから改めて事務局内で検討を進めてまいります。次回第2回の委員会の開催については、調査の報告をさせていただきたいと考えています。フィールドワークについては、実際に見ていただき、肌で感じていただいて、それをベースに色々なご意見をいただきたいと思いますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

<会長>

フィールドワークの実施はたいへん良いと思います。ぜひ皆さまのご参加も、よろしく願いいたします。

以上をもちまして第1回富田林市観光ビジョン策定委員会を終了させていただきます。皆さま、ありがとうございました。

<事務局>

ありがとうございました。